

漁海況情報第8報 (2013年11月18日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

本県の沿岸から沖合の表面水温は平年並み、100m深水温は2～5℃低くなっています。

宮城県沿岸から沖合の表面水温は15～18℃台となっており、概ね平年並みとなっています。100m深水温は11～14℃台となっており、概ね平年よりも2～5℃程度低めとなっています [P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

水温鉛直断面図をみると前回の調査(10月29～30日)よりも表層から底層までの水温の差がさらに小さくなっています [P2.水温鉛直断面図]。

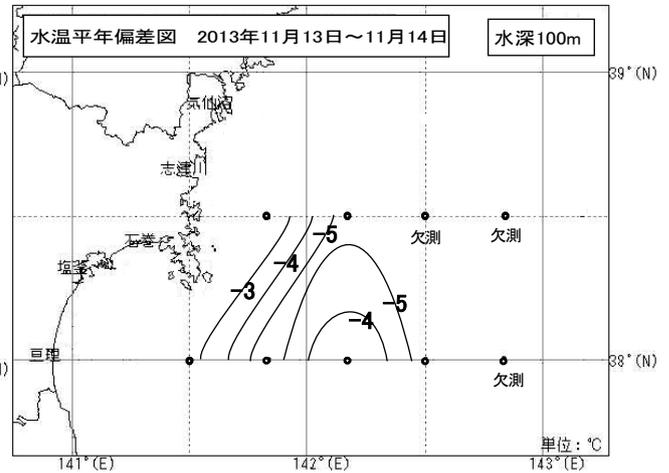
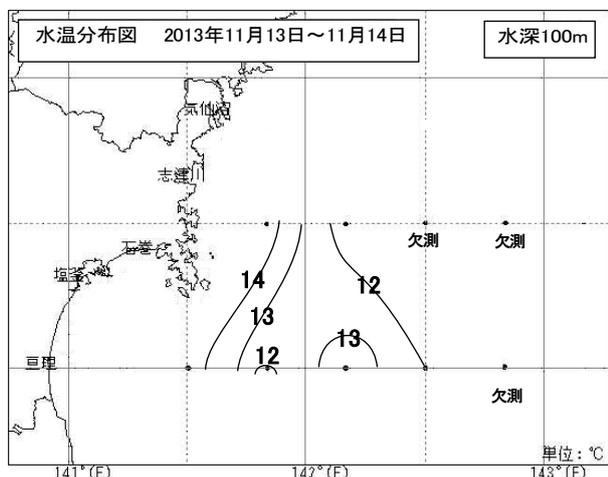
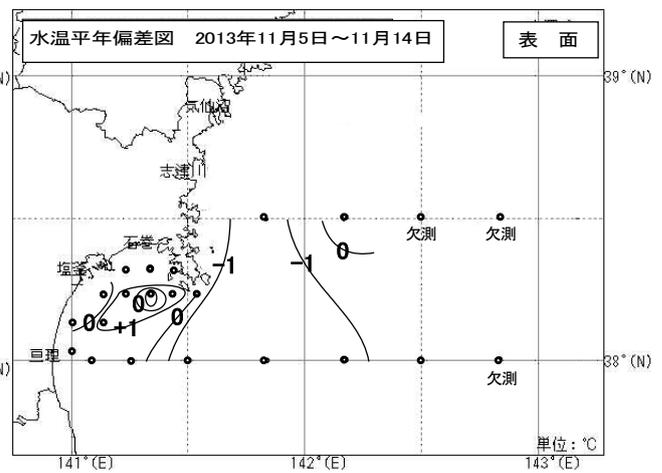
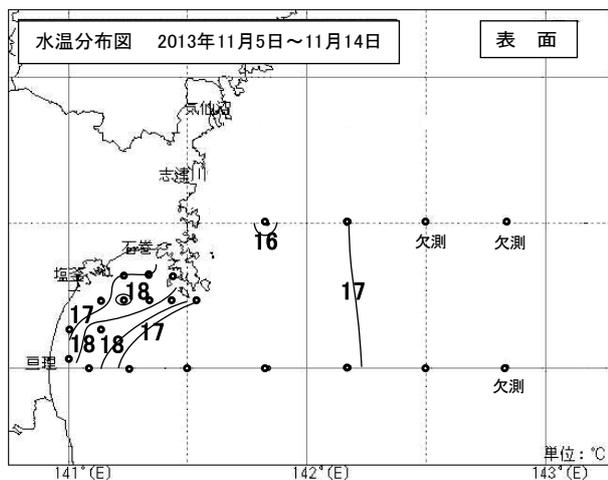
(一社)漁業情報サービスセンター配信の東北海域漁海況情報(表面水温)によると、親潮第一分枝が南下して三陸近海で冷水域が拡大する一方、三陸沖の暖水渦は第一分枝と第二分枝に挟まれて安定、持続傾向にあります [P2.東北海域の海況図：(一社)漁業情報サービスセンター]。

11月上旬の定地水温は15～17℃台となっています。平年値との比較では、岩井崎、江島では平年並み、佐須浜でやや高くなっています [P2.定地海洋観測結果]。

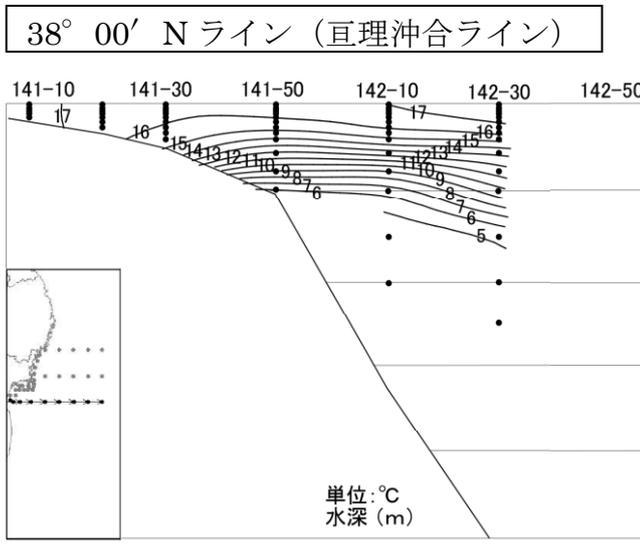
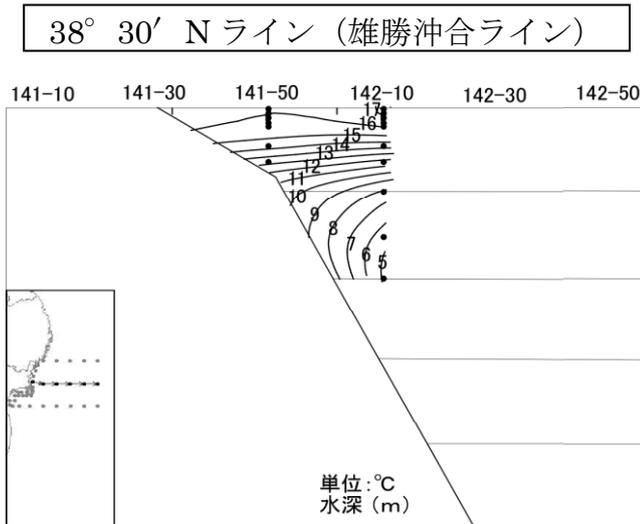
海底直上水温については、仙台湾内は16～18℃台となっており、昨年同期に比べ1～2℃低めとなっています [P3.海底直上水温図]。

・水温水平分布図

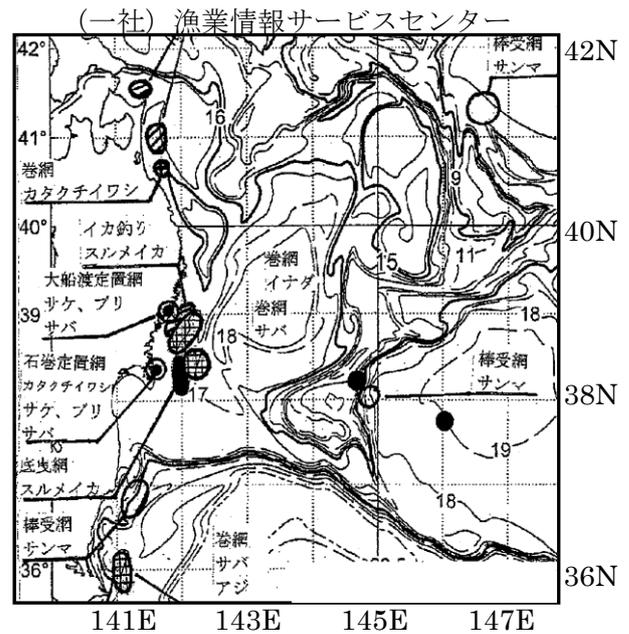
・水温平年偏差図(現在水温と平年水温との差)



・水温鉛直断面図



2013年11月14日の東北海域の海況 (表面水温)

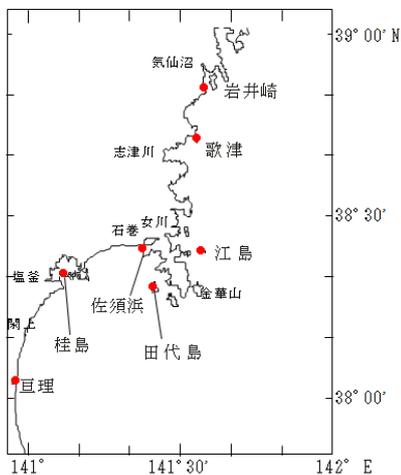


特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

(11月14日表面水温)

- ・親潮第一分枝が南下して三陸近海で冷水域を拡大。
- ・第二分枝は常磐沖を西に進み常磐～鹿島灘へ冷水を供給。
- ・三陸沖暖水渦は第一分枝と第二分枝に挟まれながら安定、持続傾向。
- ・黒潮続流は犬吠近海を北上後、塩屋崎近海で東へ流去。
- ・下北～金華山 15～16°C台、仙台湾～常磐 16～17°C台。

・定地海洋観測



観測点	11月上旬	平年差	前年差
岩井崎	16.3 °C	平年並み	0.4 °C / -1.2 °C
江島	16.7 °C	平年並み	0.0 °C / -0.9 °C
佐須浜	16.9 °C	やや高い	0.9 °C / -0.4 °C
桂島	15.8 °C	-	- / 0.7 °C
巨理	17.0 °C	-	- / 0.2 °C

※歌津と田代島は自動観測装置による観測を中断しています。

※平年差
 岩井崎、江島 (30年)
 佐須浜 (10年)
 桂島 (平成24年2月から観測開始)
 巨理 (平成24年10月から観測開始)

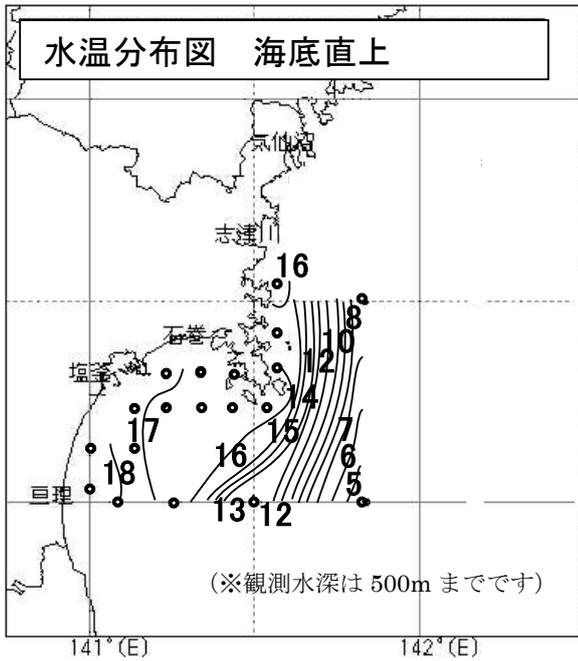
※定地海洋観測結果は、

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/kaiyou/201311suion-index.html>

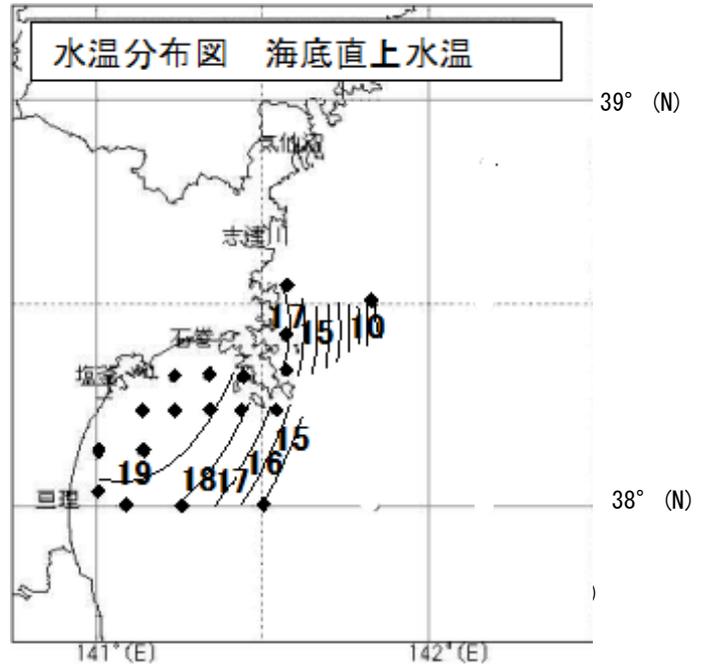
でも公開中です。

・海底直上水温図

海底直上水温(2013年11月5日~14日)

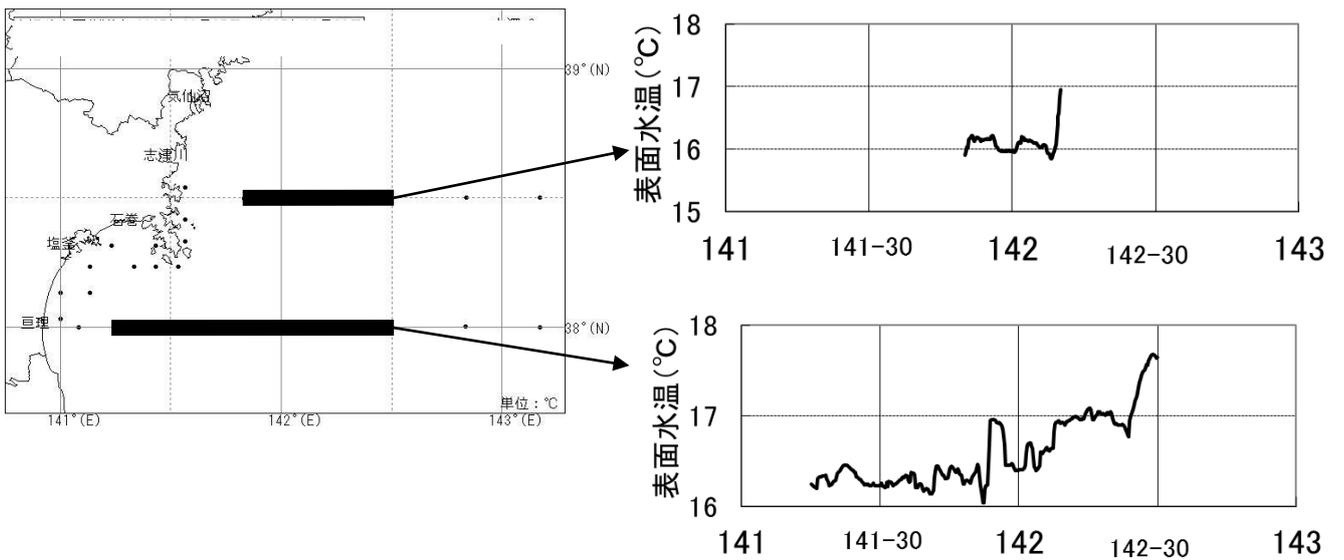


海底直上水温(2012年10月25日~11月6日)



2. 表層水温情報

拓洋丸に搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記のとおりです。



3. 漁況

平成 22 年比でサバ類、ヒラメ、マダラ、シロサケの水揚げが、前年比でカツオ、ブリ、サバ類、スルメイカ、スケトウダラ、シロサケの水揚げが多くなっています。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:10月1日～10月31日)

魚種	沖底	小底	旋網	定置網	刺網 全漁法	沿岸 イカ釣り	延縄	大目 流し網	一本釣り	棒受網	その他	総計	前年比(%)	H22年比(%)
カツオ				0			1	0	3,966		3	3,969	113	73
クロマグロ(メジ含む)				3	0		2	0			1	5	33	36
ビンナガ							41	0	29			70	34	41
メバチ(ダルマ含む)							493		1		4	498	90	56
ブリ			210	243							41	494	119	72
サバ類	100	0	9,784	206	5						16	10,112	863	109
サンマ										9,492	27	9,519	82	46
マイワシ				0							8	8	13	81
カタクチイワシ				65							1	65	79	18
ヒラメ	60	12		6	7						5	89	—	371
スルメイカ	867	0		2	0	49					1	919	183	41
マダラ	564	0		0	6		1				469	1,039	—	131
スケトウダラ	96				0						57	154	276	70
シロサケ	44	1		959	607						955	2,565	151	137

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

※0は1トン未満の水揚げを示す。

※ヒラメは、昨年5月から今年3月まで出荷制限したため、前年比を—とした。

※昨年10月は、1尾の重量が1kg以上のマダラを出荷制限していたため、前年比を—とした。

4. 大型クラゲ情報

本県での大型クラゲの入網状況は、前月号(10月31日発行)で9月28日に1個体、10月10日に1個体確認されたこととお知らせしましたが、それ以降は確認されていません。(一社)漁業情報サービスセンターによると(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)、現在の出現状況は、「青森県の定置網、岩手県の定置網で数個程度、最大50個体(11月13日)」「能登半島西の底びき網漁では入網が続いている(11月14日)」となっています。また、11月5日に茨城の定置網で50個体程度確認されたことや三陸北部の沿岸でも出現が継続的に確認されていることから、今後の来遊には引き続き注意が必要です。当センターでは9月から大型クラゲの来遊調査を実施しており、今後も来遊状況は随時お知らせしていきます。

5. 調査船運航計画

拓 洋 丸	
11月19日～20日	カレイ類発生調査
26日～27日	底曳調査

開 洋	
11月19日	刺網調査
27日～28日	貝桁調査